茅ヶ崎市自立支援協議会　報告書

標　題	令和８年度第２回　茅ヶ崎市自立支援協議会　当事者部会（カラフル）
日　時	令和８年９月１日（火）１８時３０分～２０時３５分
場　所	茅ヶ崎市役所分庁舎５階　Ｆ会議室
出席者	＜部会員＞ ■　臼井　幹夫（部会長） ■　石井　直子（副部会長） ■　湊　弘志 □　青木　理香 ■　松本　敬太 ■　飯田　裕子 ■　安藤　美紀子 ＜オブザーバー＞ ■　【自立支援協議会事務局】ちがさき基幹相談支援センターナル　竹﨑　利恵 □　【自立支援協議会代表者会議会長】湘南つつみ苑・ひざしの丘相談室　柴田　勝一（茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会） ■　【自立支援協議会代表者会議委員】放課後等デイサービスこあら 戸祭　高志（茅ヶ崎市寒川町障害児者通所事業所連絡会） ＜事務局＞ ■　茅ヶ崎市障がい福祉課　課長補佐　前田　玲美 ■　茅ヶ崎市障がい福祉課　主査　池元　佑輔 ■　茅ヶ崎市障がい福祉課　主査　土井　亮太 ■　茅ヶ崎市障がい福祉課　主査　鈴木　敦之 ■　茅ヶ崎市障がい福祉課　主任　大畑　純子 ■出席　□欠席
配布資料	・次第 ・令和９年度茅ヶ崎市版自立支援協議会　再編イメージ（案） ・令和９年度茅ヶ崎市版自立支援協議会　再編イメージ（案）（テキスト版） ・令和８年度活動予定表（令和８年度第１回代表者会議資料より） ・令和８年度第１回　茅ヶ崎市自立支援協議会　当事者部会（カラフル）報告書（令和８年度第１回代表者会議資料より）

進行：茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課　大畑主任、 臼井部会長
書記：障がい福祉課　鈴木主査

各自自己紹介。
自立支援協議会事務局のちがさき基幹相談支援センターナル竹﨑氏と、代表者会議委員の茅ヶ崎市寒川町障害児者通所事業所連絡会の戸祭氏がオブザーバーとして出席。

事務局より
資料確認。資料説明。

1.　令和8年度自立支援協議会　第1・2回臨時会議、第2回運営会議の報告
　出席者：第1回臨時運営会議　7月10日（金）臼井部会長、飯田さん
　　第2回臨時運営会議　8月21日（金）臼井部会長、石井副部会長、飯田さん
　　第2回運営会議　9月1日（火）臼井部会長、石井副部会長
臼井部会長：自立支援協議会運営会議に出席して様々な課題や時世に合った内容が協議されていたが、当事者の子どもを抱えている母親などから話を聞きたいと思った。

石井副部会長：カラフル会の立ち位置を明確にしたいと思った。
臼井部会長：カラフルの立ち位置について、事務局はどの様に考えているか知りたい。カラフルの立ち位置については、固定化しない方が良かったと思う。活動はやりやすい。茅ヶ崎市の中で当事者の方々が感じていることを協議して行ける場になれば良い。事務局は、自分たちにとっての伴走者だと思っている。自分たちが日常生活の中で感じていることを語り合える場がカラフル会だと思う。支援者は就労として支援している。当事者は就労ではなく日常の生活に関して感じたことを語り合える場にしていきたい。
事　務　局　：令和9年度以降の自立支援協議会のイメージ図（案）について説明。代表者会議、運営会議は既存のまま変わらず開催。これまで同様に代表者が参加する。部会編成に関して次年度以降変わる。生活支援部会、相談支援部会、こども支援部会（すべて仮称）の3つの部会に再編する方針で検討している。生活支援部会は成人を対象とする部会。こども支援部会は児童を対象とする部会。相談支援部会に関しては相談支援体制に関して検討する部会として設置する方針で検討している。カラフルの位置づけに関して、部会ではなく、カラフル会としての位置づけに再編する。カラフルに所属する方々の代表者が各専門部会に参画して意見を述べる形。参画するメンバー数は今後協議して決める。
専門部会に参加した方々が、カラフル会に参加した時に、出ていた意見や協議している内容などを共有する場の位置づけとしてカラフル会を設置する事とした。
今後の方針として、今いるメンバーだけでなく、さらにメンバーを募り、今いる障がい分野以外の方の参加も検討して行けると良いと思う。
飯田委員　：今までのカラフルの活動は当事者だけ外れていたような気がしていたため、今回のような提案があったことは、良かったと思う。メンバーの障がい種別に関する偏りについては否めない。カラフルのメンバーに関しては、今後どのような形で募集していくのか？
事　務　局　：現時点ではどのようにしていくか決まっていない。ある程度骨子が決まった段階で募集する運びである。
飯田委員　：運営会議の中で、当事者部会が不要だといった考えの話はなかった。必要性があると感じる事が出来た。
臼井部会長：他市は当事者部会のような設置はなく、各専門部会に参画する事が一般的。自立支援協議会は、障がい者のための協議会なので、当事者が参加していく事は重要だと思う。しかし、当事者の方たちが参加したところで協議している内容が分からないことも多い。そのような内容を補完する役割を持ち、当事者のホームベースとしてカラフル会があるのだと思う。様々な日常生活上の困りごとを語ることが出来る専門部会の際、発言すれば良いと思う。
飯田委員：　あらかじめカラフル会で取りまとめた意見をまとめて文書で出席するという形を取れば、みんなの意見を提出できるし負担も減る。
事　務　局：当事者の方たちが寄り合って話し合いながら、専門部会に参加していく形を取ろうと考えていた。飯田委員の意見を基にすれば、あらかじめメールなどで意見を集約して発言をするのは良いと思う。
湊　委員　：　茅ヶ崎市だけではなく他市の状況を踏まえ考えた時に、メールで意見を集約する方法は一案として良いと思う。聞こえない人の考え方を集約することは様々な考えを持っていると思う。自分だけの意見が採用するだけで良いのかと疑問を持ってしまうため、多くの方の意見を集約できるのは良いと思う。
松本委員　：　いろんな部会に参加するのは良いと思う。
臼井部会長：自分の障がいに関する話題があるときに参加するのは出やすいと思うが、そうでない時には発言に困る。
事　務　局　：　各部会で発言するのと、カラフル会で発言するあたり違いはあるか。
飯田委員：　運営会議に参加した時に感じたことは、次元の違う話をしていた。加算の話や制度の話などされても何を発言すれば良いのか困った。ある程度、テーマを絞った意見を求められた方が発言しやすいと思った。
安藤委員：　専門的な会話の中に参加していく事はとても勇気がいること。事前にメールで確認されて回答することは良いと思うが、自分たちだけで回答を検討することはさばききれないかもしれない。
臼井部会長：相談支援の方たちの視点や考えと、当事者の方が考えている視点にはずれがある。当事者は差別や合理的配慮の視点に立った発言をすると思う。支援者と当事者のみている世界は違うことはあることではないと思う。様々な角度から意見を出すという意味で、メールで意見を徴するして集約することは良いと思う。
石井副部会長：結論に関してはいつまでに決める必要があるか？
事　務　局　：　出来れば9月の代表者会議までに決めたかったが、今のところ決まりそうにない。
飯田委員　：　各専門部会に参加するという事は平日の日中の会議となるため、就労している方に関しては参画すること

は難しい。
事 務 局 ： メールでの意見集約も一案。
臼井部会長：グーグルの掲示板が使用できれば、そこで意見集約をする方向で話をすることもできる。
事 務 局 ：行政も今回の皆様からのご意見を踏まえて意見集約できる方法に関して、検討していく事と、メンバーが一同に会する機会も残しつつ検討していきたいと思う。
石井副部会長：様々な意見が集約できるようになっていく意味では、様々な障がいのある方が増えることは良い事。
湊 委員 ： 聴覚の中でも聞こえにくい方もいる。また、手話を使わない方もいる。コミュニケーションが取りにくい事もあるが、メンバーに聞こえにくい人も入ってくれると良い。
臼井部会長：対面式とメール参加等両輪で運営するような方法が検討出来れば様々な人達の参画につながると思う。

2. 今年度の活動について
(1) 冊子を通じた普及啓発
事 務 局： 神奈中バスの営業所に関して報告。当事者部会カラフルの方の都合に合わせることは可能。いくつか候補日を設定し調整する。湊委員は日中の参加は困難。
9 月 9 日(水)午後
9 月 10 日(木)午前
9 月 14 日(月)午後 臼井部会長、石井委員、飯田委員、
9 月 15 日(火)午前
9 月 30 日(水)午前 松本委員
10 月 7 日(水)午前 臼井部会長、石井委員、松本委員
上記内容から、9月14日か10月7日の候補日を先方へ提案し都合を確認した上で各委員へ連絡する。
(2) ボランティア連絡会からの講師依頼 10月21日(水)13:30－15:30
臼井部会長：茅ヶ崎ボランティア連絡会の松本氏から講師の依頼を受けた。
松本氏からの話では、ボランティア連絡会では、これまで勉強会や講演会で合理的配慮について学んできた。当事者の方から直接話を聴くことが重要だと考えた。昨年度の差別解消の市民向け講演会を拝聴し、カラフルに講師を依頼する事とした。との経緯だった。
最終的に開催日は10月21日(水)13:30－15:30になった。場所は農協ビル5階のホールを予定。
当日の流れは、はじめに臼井部会長からカラフルについて活動内容を話してもらう。その後にパネリストとして当事者(カラフル)部会員が登壇し、5分程度発言してもらう。その後、ボランティア連絡会の方達から集めた質問について、参加メンバーが回答していく。内容は合理的配慮について。事前質問に関しては出来る限り早くとお願いしているところだが、まだ決まっていない。
事前打ち合わせの9月28日か10月5日頃にはわかると良いなと思っているが、まだ決まっていない。事前打ち合わせには臼井部会長が参加し、9月28日(月)は飯田委員も参加可能。10月5日(月)飯田委員と松本委員も参加可能。先方に希望を伝え、日程を確定する。
10月21日の参加可能者は、臼井部会長、飯田委員、松本委員、安藤委員が参加予定。湊委員は欠席。青木委員へは後日確認。
(3) その他活動
臼井部会長：今年度の活動としては、冊子のPRとして神奈中バスに対して行う事と、今回実施するボランティア連絡会への講演会を活動として行う事で、今年度の活動は進めていきたい。
湊 委員： 活動というよりは、聞こえないものとして、聞こえない人の高齢化が進んでいる。手話が分からない方が多くコミュニケーションが取れないで困っている人が増えている。聞こえない人が施設に入った時に、安心できるかなと危惧している。聴覚の方に配慮したグループホームもない。
臼井部会長：神奈川県には聴覚障がいの方の高齢者施設はないのか？視覚障がいの方はある。
湊 委員： 聴覚の方の高齢者施設はない。聴覚障がいの方たちが安心して暮らせるような入所施設など協議してもらえると良いな。全国的にみても少なく、千葉県と埼玉県のどんぐりの家、大阪府など全国でも数える程しかない。
石井副部会長：小学生の頃からでも指文字だけでも習うような仕組みがあると良いなと思う。
臼井部会長：手話に関して興味がある人が増えると良い。小学校の授業で点字を習っても誰も覚えていない。今後手話が出来る人や興味を持つような人が増えるような仕組みについても自立支援協議会の中で協議する事

	が出来ても良い。 3. 9月25日(金)14:00－16:00 代表者会議への出席者の選定 事 務 局: 当初、石井副部会長が参加予定だったが、仕事の調整がつかず参加できなくなった。他の委員が参加できるか確認したい。今回の参加調整不可という事とし、臼井部会長のみの出席とする。 4 その他(情報提供など) 湊 委員: 9月23日(水)に手話のイベントがある。「手話市場」というイベント(11 時から 17 時)が開催される予定。35～50 ブース参加予定。手話のパフォーマンスも行う予定。誰でも参加できる。手話出来なくても気軽に参加して欲しい。本日から、9月23日(水)(手話の日)までブルーライトアップ予定。道の駅ちがさきなどもブルーライトアップ予定。当日は、湊委員が開会あいさつをする予定。パフォーマンスは絵本の読み聞かせを行う予定。 石井委員: 10月18日(日)茅ヶ崎文化会館で行われる文化祭に参加する。シアターウィッチという紙芝居をおこなう団体に参加している。今回は全盲の佐藤さんの日常の困りごとを紙芝居にして表現する。数年前には、私の話を紙芝居で紹介したこともある。 **次回日程**: 12月頃を予定。後日日程調整の連絡をする。
部会活動の課題	
検討事項	